5. ダイヤ改正・割引制度導入の内容（令和2年4月1日より）

運行当初のダイヤでは、大原駅で5分、下城ハイツ上で5分（経路途中）、15分（終点）の調整時間を設けていたが、昨年12月に改正した現行のダイヤでは、乗務員の休憩所のある大原駅で25分間の調整時間を設けることとした。運行当初のダイヤでは、運行途中にある3回の調整時間で遅れを吸収していたが、前回のダイヤ改正では調整時間をコース前半の大原駅にて1度でまとめて設けたことから、コースの後半で10分程度の遅れが慢性的に発生し、定時性の面で支障が生じている状況である。また、ダイヤは覚えやすく分かりやすいダイヤ（同じ分に発車するダイヤ）としており、1便当たりの所要時間を長くすることも難しい状況である。

また、利用者数に関して、昨年度を下回っている状況が続いており、更なる利用促進を図っていく必要がある。

このため地元協議会において協議した結果、ダイヤの遅れに関しては、定時性向上のためダイヤ改正を行い、調整時間の配分を見直すこととした。また、利用促進策については、障害を抱える様々な方が利用しやすいよう、障害者に対する各種割引を実施することとなった。

改正内容	概要
(1) ダイヤ改正	大原駅で設けている25分の調整時間を15分とし、新たに下城ハイツ上で5分（経路途中）、5分（終点）の調整時間を設ける。
(2) 各種障害者割引の導入	身体障害者手帳所持者、精神障害者手帳所持者、療育手帳所持者及びその介護人に対し、運賃を割引く。

路線図（P.8）、改正時刻表（P.9）参照